



平成 22 年 7 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社ウィル  
 代 表 者 名 代表取締役 岡本 俊人  
 (コード番号：3241)  
 問 合 せ 先 取締役総務グループマネージャー  
 役職・氏名 栗野 泉  
 電 話 0797-74-7272

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年2月12日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成22年12月期第2四半期累計期間業績予想数値の修正（平成22年1月1日～平成22年6月30日）

##### (1) 連結業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,625	42	9	6	円 銭 602 78
今回修正予想 (B)	1,122	48	11	4	438 90
増減額 (B - A)	△502	5	2	△1	—
増減率 (%)	△30.9	13.4	29.1	△27.2	—
(ご参考)前年同期実績 (平成21年12月期第2四半期)	2,144	△26	△79	△132	△11,708 24

##### (2) 個別業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,587	7	1	△0	円 銭 △50 77
今回修正予想 (B)	1,069	9	4	△3	△352 37
増減額 (B - A)	△517	1	2	△3	—
増減率 (%)	△32.6	26.6	283.8	—	—
(ご参考)前年同期実績 (平成21年12月期第2四半期)	1,916	△47	△70	△127	△11,263 90

#### 2. 業績予想修正の理由

##### (1) 第2四半期

当第2四半期連結累計期間における当社グループの取り組みとしまして、従来の事業収益構造を見直し、収益力を高め、経営基盤の安定化を図ることを目的として、事業の選択と経営資源の集中により、総売上高に占めるフィービジネスの割合増加に努めてまいりました。

そのような中、連結売上高につきましては、前回発表より502百万円の減少となりました。その主な要因といたしまして、開発分譲事業における販売計画の進捗に遅れが生じているためであります。具体的には、戸建分譲物件4戸、分譲マンション物件8戸が計画に対して未達となりました。

しかしながら、営業利益におきましては前回発表より5百万円増加して48百万円に、経常利益は同じく2百万円増加して11百万円に、四半期純利益は1百万円減少して4百万円と、ほぼ計画通りの利益を計上することができ、黒字回復を果たすことができました。

この要因といたしましては、事業収益構造の見直しによるフィービジネスの事業売上割合を高めるための戦略が奏功し、不動産の購入に係わる仲介件数は前年同期比32.4%増加したこと、それに伴うリフォーム工事の請負契約も計画通り好調に推移したことで、収益面での改善が進んだことによりしております。具体的には、流通事業の売上高が前年同期比36.2%増加したことで、その営業利益は同216.5%増加し86百万円となり、リフォーム事業の売上高が前年同期比61.2%増加したことで、その営業利益は同3,042.6%増加し36百万円となりました。また、売買仲介の取扱件数が増加したことに伴い、不動産取引派生事業における損害保険募集件数やローン事務代行件数なども比例して増加し、その売上高が前年同期比57.2%増加し、営業利益は同49.0%増加して34百万円となりました。これら結果により、フィービジネス及びリフォームの強化戦略が今後の安定的な収益確保につながることを実証できましたので、第3四半期以降においても引き続き当該戦略の更なる強化、推進を図ってまいります。

また、個別業績予想におきましても同様の理由により修正を行っております。

## (2) 通期

通期の見通しにおきましては、開発分譲事業の売上に遅れは生じておりますものの、流通事業、リフォーム事業、不動産取引派生事業により利益面でのカバーが想定以上に進んでおりますことから、今後につきましては、開発分譲事業における物件の販売価格を見直し、まずは販売の進捗を優先させる戦略をとってまいります。これにより、開発分譲事業の営業利益率は低下いたしますが、引き続きフィービジネス・リフォームの売上強化策を推進してまいりますことにより、利益面におけるカバーは十分に可能であると判断し、通期業績予想の修正は行っておりません。

以上

ご注意：上記の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成しております。  
実際の実績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。